

千葉県における市町村別マダニ採集状況

森 啓至, 藤曲 正登

The Circumstance of Collecting Ixodid Ticks on Cities,
Towns and Villages in Chiba Prefecture.

Keiji MORI, Masato FUJIMAGARI

I. はじめに

千葉県南部の房総丘陵においては、マダニ類が大量に発生している地域があり、そこでは鹿・狸・犬などに大量の寄生がみられ、住民への被害も刺咬によるもののほか、紅斑熱媒介者としての可能性も問題となっている。

一方、大型獣の生息が考えられないような東葛地域の住宅地帯からもマダニによる刺咬被害が当研究室に持ち込まれることがあるが、その実態については正確な把握ができていない。

そこで、マダニ類の全県下の生息状況を調査しているところであるが、各市町村において最低一ヶ所以上の採集ができたので、その結果について報告する。

II. 方法

千葉県下80市町村で、76cm×152cmの大きさの白いフランネル布を草地の上にかぶせてこれを引きずりダニを付着させるフランネル法により植生上のマダニ採集を試みた。

採集できたマダニは研究室に持ち帰り、成虫は80%アルコールで固定後実体顕微鏡下で観察し形態的に種を同定した。若虫・幼虫はガムクロラル液で封入し、同様にして形態的に種の同定に供した。

III. 結果

採集を実施した地点は、図1.に示したように県下全80市町村(355ヶ所)にわたったが、マダニが採集できたのは図2.のように48市町村(145ヶ所)であった。

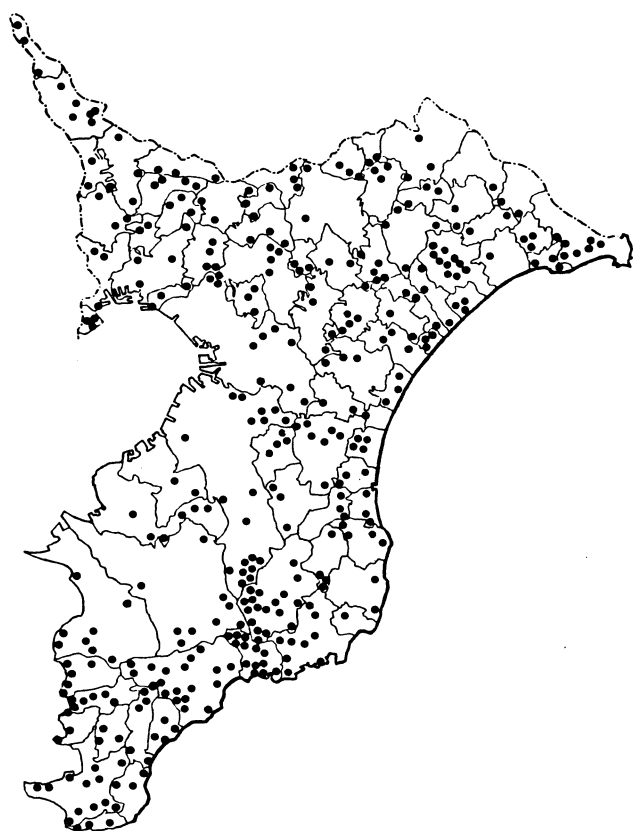


図1. フランネル法によるマダニ採集実施地点

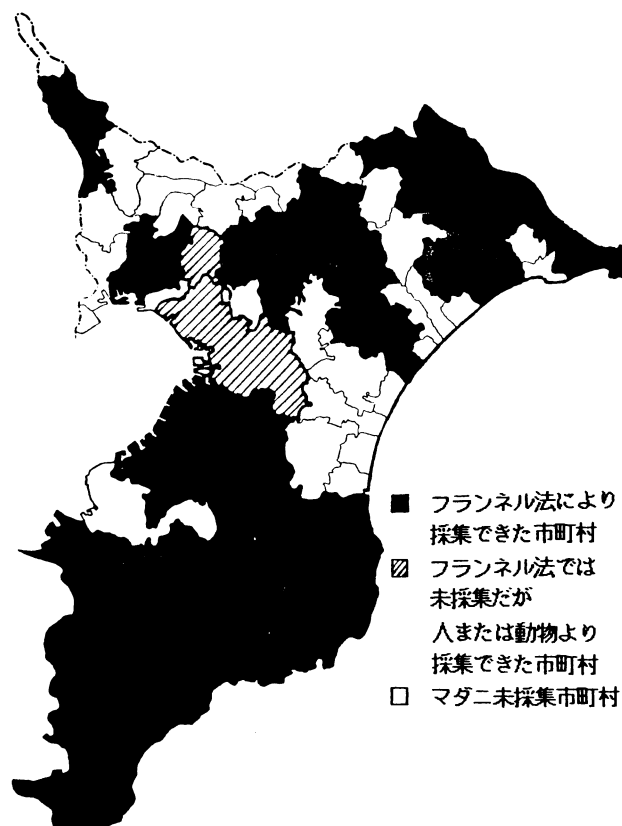


図2. マダニが採集できた市町村

その他、フランネル法により採集できなかったが、動物及び人ニ*Haemaphysalis longicornis*若虫・八千代市（7才児；キ
 体刺咬例を確認している市町村は、千葉市（犬；フタトゲチマダ チマダニ*H.flava* ♀）の2市であった。

表. 市町村別マダニ採集数 (1988年4月~1993年10月)

	総数	Hl	Hf	Hk	Hi	Hm	Hc	Itu	Io	In	Ita
野田市	1	1									
流山市	10		10								
船橋市	1		1								
鎌ヶ谷市	28	28									
佐倉市	2	1						1			
成田市	1		1								
富里町	2		2								
酒々井町	1		1								
印旛村	11		11								
佐原市	328		328								
小見川町	2		2								
東庄町	1		1								
山田町	1		1								
栗源町	1		1								
神崎町	3		3								
旭市	1	1									
銚子市	17		17								
八日市場市	16		15						1		
千潟町	1		1								
松尾町	1		1								
成東町	2							2			
山武町	3		3								
芝山町	1		1								
長柄町	10		8	1				1			
長南町	30		21	8				1			
一宮町	3	2	1								
睦沢町	3							3			
市原市	19	8	6	1		3			1		
袖ヶ浦市	7	1	6								
君津市	267	45	143	43		6		25	5		
富津市	102	2	97						3		
岬町	151	6	29					116			
夷隅町	9		9								
大原町	1		1								
御宿町	15		15								
大多喜町	2,239	858	1,157	177	7	25			14	1	
勝浦市	4,047	1,653	1,841	42	338	168		1	4		
天津小湊町	32,467	19,966	11,191	504	366	389	41	6	3		1
鴨川市	3,000	492	2,394	79	21	12			1		1
鋸南町	18		18								
富山町	39		39								
富浦町	165		143					10		12	
三芳村	17		16						1		
丸山町	15		8						6	1	
和田町	5		5								
館山市	98	7	85						5	1	
千倉町	10		10								
白浜町	28		27							1	
合計	43,200	23,071	17,670	855	732	603	41	166	44	16	2

※ Hl: フタトゲチマダニ, Hf: キチマダニ, Hk: ヒゲナガチマダニ, Hi: ヤスチマダニ, Hm: オオトゲチマダニ
 Hc: ツリガネチマダニ, Itu: アカコッコマダニ, Io: ヤマトマダニ, In: タネガタマダニ, Ita: タヌキマダニ

千葉県における市町村別マダニ採集状況

採集されたマダニは表. に示したように、2属10種43,200個体で、種類別採集数は、*H. longicornis* : 23,071, *H. flava* : 17,670, ヒゲナガチマダニ*H. kitaokai* : 855, ヤスチマダニ*H. ias* : 732, オオトゲチマダニ*H. megaspinosa* : 603, アカコッコマダニ*Ixodes turdus* : 166, *I. ovatus* : 44, ツリガネチマダニ

H. campanulata : 41, タネガタマダニ*I. nipponensis* : 16, タヌキマダニ*I. tanuki* : 2個体の順であった。

また、種ごとの市町村別採集状況は千葉県北部でも見られた*H. longicornis*, *H. flava*, *I. ovatus*, *I. turdus*は図3. から図6. に、その他の種類については図7. にまとめて示した。

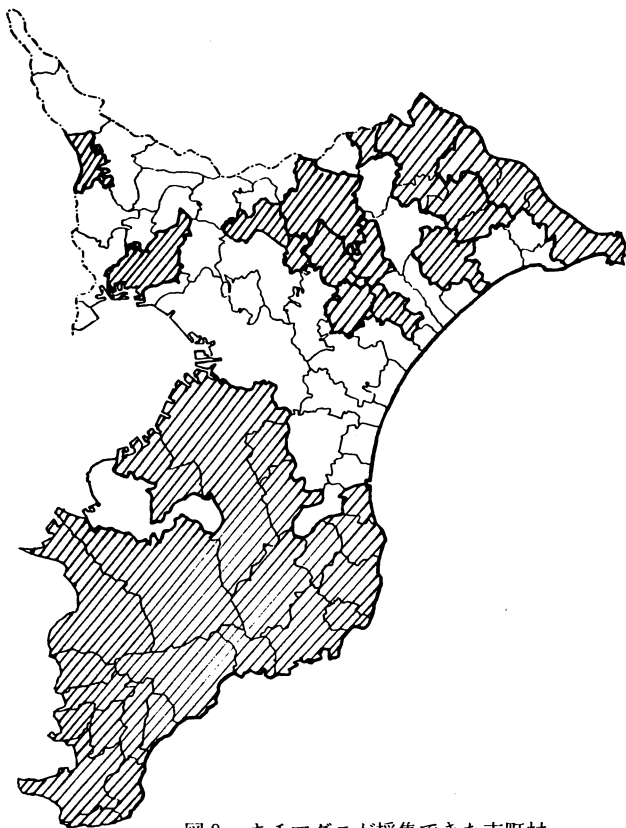


図3. キチマダニが採集できた市町村

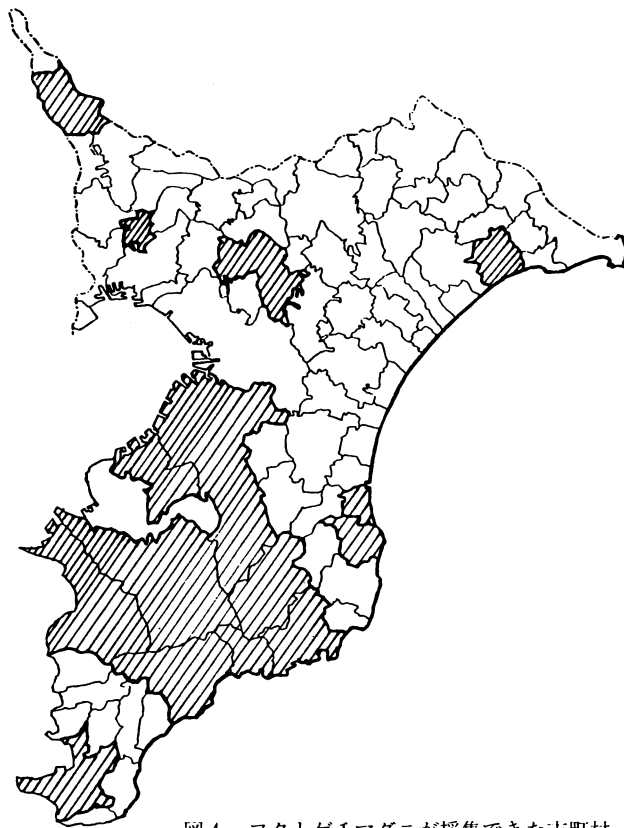


図4. フタトゲチマダニが採集できた市町村

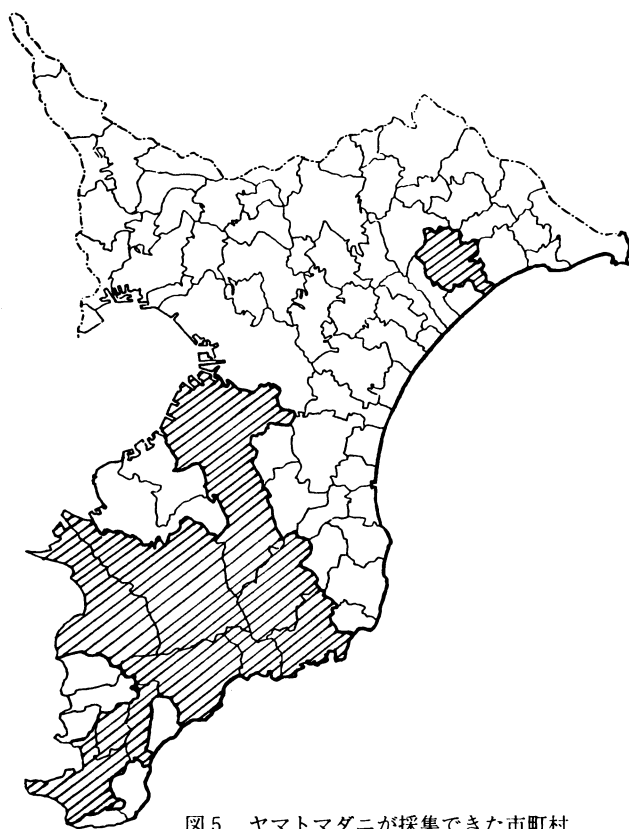


図5. ヤマトマダニが採集できた市町村

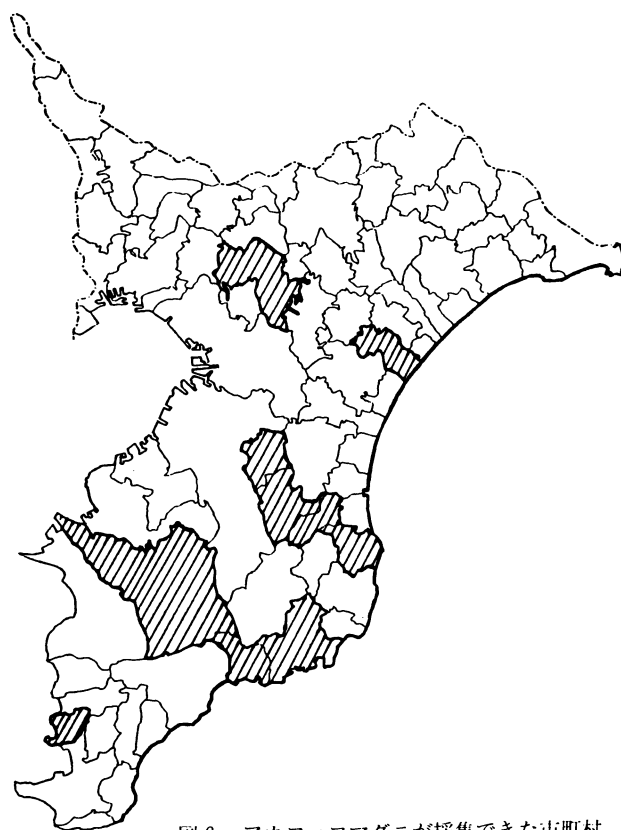


図6. アカコッコマダニが採集できた市町村

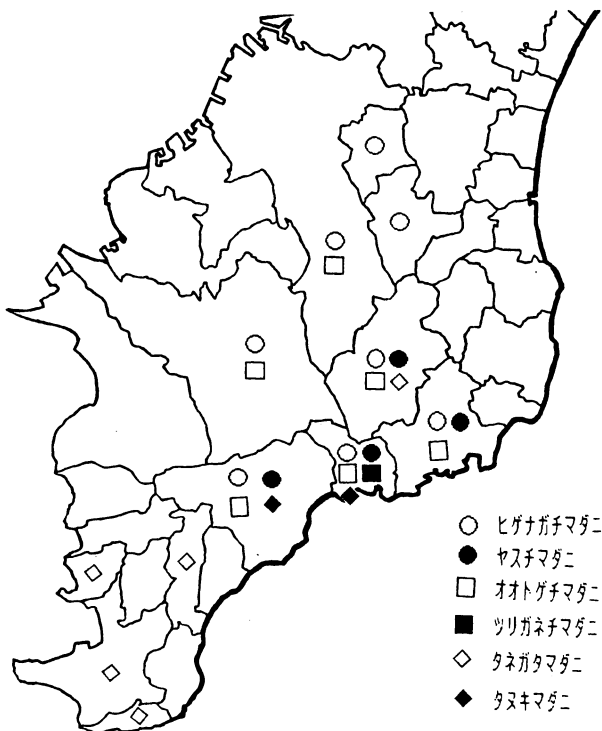


図7. 南房地域のみにもみられたマダニ類の市町村別採集状況

IV. 考 察

採集回数がそれぞれの市町村によって異なるため一概に言えないが、多種類・多数のマダニが採集されているのは、南部の清澄山系を中心とした地域であり、この地域には紅斑熱患者の発生も見られる。

一方、千葉県北部及び東葛地域の住宅地域においても種類数は少ないが、*H. longicornis*や*H. flava*などのマダニの存在が確認されており、その被害も何件がある。

*H. megaspinosa*及び*I. tanuki*は動物体表上からの採集数は多いのに、フランネル法ではあまり採集できなかった。

V. ま と め

今回マダニ類を採集できなかった市町村の中でも、採集地や採集時期を変えたり、また、その採集頻度を上げれば新たにマダニ類の存在も確認できてくると思われる。マダニ類の被害は、野生大型獣のいる山野に入った人・動物に対してだけでなく、住宅地内の未整理区画地など手入れされていない空地などに入る犬・猫及び子供などに見られるようになってきたが、実際に調査を行ってみるとかなり様々な地域の公園・住宅地でもマダニ類の汚染がみられる事がわかった。

今後こうした地域での調査をさらに進めるとともにマダニ防除も考えて行かなくてはならない。

最後に本調査にご協力を頂いた勝浦保健所・鴨川保健所・館山保健所等の各職員（特に予防課員）の皆様に深謝いたします。

参考文献

- 1) Yamaguti, N., Tipton, V. J., Keegan, H. I. & Toshio-ka, S. (1971): Ticks of Japan, Korea, and the Ryukyu Islands. Brigham Young Univ. Sci. bull., Biolo. Ser. 15, 1-226.
- 2) 山口 昇: ダニ学の進歩, 日本産マダニ上科の検索, (佐々学, 青木淳一編) 451-472, 北隆館, 東京, 1978.
- 3) 山口 昇, 北岡茂男: 日本ダニ類鑑, マダニ科, (江原昭三編) 144-161, 全国農村教育協会, 東京, 1980.
- 4) 北岡茂男 (1980): マダニ科マダニ属 *Ixodes* の未記載種について, 家畜衛試研究報告, 80, 11-20.
- 5) 北岡茂男 (1985): マダニ科チマダニ属の未成熟期の検索, 家畜衛試研究報告, 88, 49-63.
- 6) 高田伸弘: 病原ダニ類図譜, 105-148, 金芳堂, 京都, 1990.
- 7) 佐々 学編: ダニ類—その分類・生態・防除—, 101-120, 東京大学出版会, 東京, 1965.
- 8) 森 啓至, 藤曲正登, 林 晃史 (1990): 千葉県南部の鹿にみられた寄生マダニ相, 千葉県衛生研究所研究報告, 14, 44-47.